

農業経済学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

「農業経済学特論」の学習目標は、社会科学的な観点から「農業」に関する諸現象を明らかにしていくことである。そうした諸現象を明らかにしていくために、理論的な枠組みが、必要不可欠となる。「農業経済学特論Ⅱ」においては、そうした理論的枠組みとして一般的に「ミクロ経済学（micro-economics）」と呼ばれるものを「農業経済学特論Ⅰ」に続き学習する。ミクロ経済学（micro-economics）とは、微視的経済学と訳される。個別的な家計や企業の経済行動の分析から始まって、全体的としての市場および経済の分析に至る経済学の領域。M.E.L. フルラスの一般均衡理論がその典型である。個別的経済主体の観点からは、市場価格が重要な行動指針であり、価格分析が最重要の課題となる。本授業においては、「ミクロ経済学」における「完全競争市場の効率性」「不完全競争市場」「市場の失敗」「国際貿易」等を中心に学習する。到達目標は、「ミクロ経済学」の応用的理論の修得である。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

市場機構と需要・供給	完全競争市場	完全競争市場と効率性	不完全競争市場
市場の失敗	国際貿易論		

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	市場機構と需要・供給	市場均衡の分析	毎回配布するプリントを利用し2時間程度予習するとともに、授業後、参考文献等を利用し2時間程度復習すること。
2	完全競争市場	完全競争市場における短期均衡と長期均衡	
3	完全競争市場と効率性	余剰分析完全	
4	完全競争市場の効率性	競争とパレート最適	
5	不完全競争市場（1）	独占企業の理論	
6	不完全競争市場（2）	寡占市場の分析（1）予備的考察	
7	不完全競争市場（3）	寡占市場の分析（2）「屈折需要曲線」の理論	
8	不完全競争市場（4）	寡占市場の分析（3）「クールノー複占」の理論	
9	不完全競争市場（5）	寡占市場の分析（4）「フルコスト原則」	
10	不完全競争市場（6）	寡占市場の分析（5）「売上高最大化」	
11	不完全競争市場（7）	寡占市場の分析（6）「ゲームの理論」	
12	市場の失敗（1）	不完全競争・費用逓減産業	
13	市場の失敗（2）	外部効果・公共財・情報の不完全	
14	国際貿易論（1）	国際貿易論	
15	国際貿易論（2）	国際貿易政策論	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
配布プリント

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
ミクロ経済学入門（第2版）／西村和雄／岩波書店（2005）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

第15回授業終了時に「試験」を実施して評価（100%）を行う。

◆オフィスアワー

次の日時・時間帯において研究室で質問等を受け付ける。①月曜日・水曜日；16:30～18:00、②火曜日；14:50～16:10、③金曜日；12:20～14:30。

◆その他受講上の注意事項

論理的思考能力の涵養に努めるという態度で授業に参加して欲しい。